



鷹巣小学校の児童らが放流

大きく育って帰ってきて

葛輪港の港整備事業を行っている渡辺組・阿久根建設特定建設工事共同企業体が、鷹巣小学校5年生の児童22人を招待して7月18日、同港でヒラメ稚魚の放流を行いました。これは、公益財団法人かごしま豊かな海づくり協会の協力を得て実施したのもです。

児童らは、同企業体から事業概要や重要性の説明を聞いた後、ヒラメの稚魚約2000匹を放流。磯永萌々華さんは「説明で葛輪港のことが分かった。放流は初めてだった。大きくなって帰ってきてほしい」と話しました。



↑ヒラメの稚魚を放流する児童たち

第1回デイサービスセンターすいせん夏祭り

利用者らと地域住民の親睦を深める

7月22日、川床ふれあいの郷で第1回デイサービスセンターすいせん夏祭りが開催されました。

NPO法人ふうしゃ（京田一則理事長）が昨年このお祭りを企画しましたが、台風接近のため中止となりました。今回は好天に恵まれ、初めて開催することができました。

利用者や川床地域の多くの人たちが集まった今回のお祭り。舞台では、三味線や太鼓の披露のほか、利用者やスタッフが一緒になって「長島町音頭」や「鹿児島おはら節」を踊るなど、会場は大いに盛り上がりました。京田理事長は「地域密着型サービスを始めたが、こういったイベントを通じて地域の人たちが一緒になって楽しんでいただければうれしい」と話しました。

第65回三地区親善体育大会

長島は総合2位

歴史的、地理的に密接な関係を持つ熊本県天草市（旧牛深市）と阿久根市、長島町がより一層親睦を深め、スポーツの振興と健康で明るい郷土をつくろうと7月9日、第65回三地区親善体育大会が、本町で開催されました。

各地区を代表する選手たちが一堂に集まり、14種目の競技でレベルの高い戦いが繰り広げられました。

近年は毎回3位に屈していた長島町でしたが、今年は、ソフトテニス、野球、男子バレーボール、男子ゲートボール、男子・女子グラウンドゴルフの5種目で見事優勝を飾り、総合順位で阿久根市に次いで2位となりました。



↑優勝した野球チーム



↑踊りを披露する利用者ら